

平成29年2月ついたち懇話会ご案内

- ◇期 日 平成29年2月1日 午後6時開会
◇場 所 紀南ツアーデザインセンター (熊野市木本町517-1)
Tel 0597-85-2001

ついたち懇話会は毎月月初めに「熊野学や熊野古道」について互いに学び合い、研究発表する、会員制の会です。

今月は一般の方々にも公開していますので、どうか遠慮なくご参加下さい。

今月は尾鷲で「熊野体験企画」「紀伊半島みる観る探検隊」を主催している内山裕紀子さんをお願いしています。

東紀州だけではなく新宮や東牟婁でも活動しており、いろいろな(マニアックな?)場所でツアーやイベントを行い、歴史研究会などにも所属しています。ツアーの下見やフィールドワークをとおして知った、とっておきの珍しい話しを聞くことができます。

事前申し込み不要。無料。



今月の提案

◇「熊野の一光三尊石仏と忍定行者」

内山裕紀子さん

熊野を熟知している内山さんならではの演題です。一光三尊石仏とは、近くでは紀宝町浅里の岩屋にあるのだそうです。この一光三尊像についての内山さんの文章を引用します。

・岩屋の開口部は高さ二メートル、奥行き約五メートル、奥には丸石が敷かれた祭壇があり、舟形光背石仏が安置されている。石仏は彫りの細かな一光三尊で、左側面には徳本上人の書体に似た文字で「南無阿弥陀仏 忍定(花押)」、台座には高坏を挟んで正面を向いた月蓋長者と如是姫らしき人物が彫られている。私は石仏の柔和な顔と雛人形のような可愛らしい台座に見惚れてしまい、しばらくここを動くことができなかった。・・・

何とも魅力的な石仏です。この石像の謎解きが聞けます。

多くのご参加をお待ちしています。

(文責 中田重頭)

